

認定権者記載欄		

様式第5－（イ）－④

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書（イ－④）

令和 年 月 日

四国中央市長 大西 賢治 殿

申請者
住 所 _____
氏 名 _____

私は、表に記載する業を営んでいるが、下記のとおり、 _____（注2）が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いします。

（表）

※表には営んでいる事業のうち指定業種に属するもの（日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名）を全て記載。当該業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する業種を左上の太枠に記載。

記

1 事業開始年月日 _____ 年 月 日

2 売上高等

$$\frac{B - A}{B} \times 100$$

指定業種の減少率 _____ %
全体の減少率 _____ %

最近1か月間における全体の売上高等に占める指定業種の売上高等の割合 _____ %

A：申込時点における最近1か月間の売上高等（ 年 月）

指定業種の売上高等 _____ 円
全体の売上高等 _____ 円

B：Aの直前3か月間の月平均売上高等（ 年 月 ～ 年 月）

指定業種の売上高等 _____ 円
全体の売上高等 _____ 円

（注1）本様式は、指定業種と非指定業種を兼業している場合であって、全体の売上高等に占める指定事業の売上高等の割合、指定業種及び申請者全体双方の売上高等の減少率が認定基準を満たす場合に使用する。

（注2）下線部には、「販売数量の減少」又は「売上高の減少」等を入れる。

（留意事項）

①本様式は、業歴1年3か月未満の場合に使用する。

②本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

③市町村長又は特別区長から認定を受けた日から30日以内に金融機関又は信用保証協会に対して、保証の申込みを行うことが必要です。

第 号

認定年月日 令和 年 月 日

申請のとおり、相違の無いことを認めます。

（注）信用保証協会への申込期間

令和 年 月 日 から 令和 年 月 日まで

四国中央市長 大西 賢治

申請者名：_____

（表1：事業が属する業種毎の創業後からの売上高）
（令和 年 月 ～ 令和 年 月）

当社の指定業種は、_____業

業種（※）	最近1年間の売上高	構成比
業	円	%
業	円	%
業	円	%
企業全体の売上高	円	100%

※：業種欄には、日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名を記載。

（表2：最近1か月間における企業全体の売上高に占める指定業種の売上高の割合）

企業全体の最近1か月間の売上高【a】	円
指定業種の最近1か月間の売上高【b】	円
【b】／【a】×100	%

（表3：最近1か月間の売上高）

指定業種の最近1か月間の売上高【A】	円
企業全体の最近1か月間の売上高【A'】	円

（表4：【A】の直前3か月間の平均売上高）

【A】の直前3か月間の平均売上高【B】	円
【A'】の直前3か月の平均売上高【B'】	円

（1）指定業種の売上高の減少率

$$\frac{\text{【B】円} - \text{【A】円}}{\text{【B】円}} \times 100 = \text{\%}$$

（2）企業全体の売上高の減少率

$$\frac{\text{【B'】円} - \text{【A'】円}}{\text{【B'】円}} \times 100 = \text{\%}$$

（注）認定申請にあたっては、指定業種に属する事業を営んでいることが疎明できる書類等（例えば、取り扱っている製品・サービス等を疎明できる書類、許認可証など）や、上記の売上高が分かる書類等（例えば、試算表や売上台帳など）の提出が必要。

（申請者以外の者が申請事務を行う場合には、上記事項に相違のないことを確認の上、下記欄に必要事項を記入ください）

中小企業信用保険法に係る申請事務について、下記の者を代理人として定め委任します。

受任者【金融機関名・支店長名】

上記内容について確認しました。

（連絡先

担当：

印